

キャラクター名  
柏 陽大 (かしわ はると)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ソラリス		ワークス	ビジネスマン	カヴァー	軽薄な男
	オプション		年齢	28	性別	男
覚醒	償い	衝動	恐怖	初期侵食率	35	%
出自	安定した家庭	経験	モラトリアム	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	76
肉体	2	0	0			2	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	1	1	0			2	戦闘移動	9
社会	4	0	0			4	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		1
回避			知覚			意志	1		調達		1
運転:	2		芸術:			知識:			情報:ウェブ		1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
優しい奇跡	P	N			
鹿嶋 千暁	P 幸福感	N 疎外感			
遊び相手	P 尽力	N 無関心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	10	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
アクセル	3	2						
効果:	行動値+[Lv*2]							
異形の刻印	10	基本+3						
効果:	最大HP+[Lv*5]							
崩れずの群れ	1	2						
効果:	至近にカバーリング							
命のカーテン	3	4						
効果:	10mカバーリング シナリオLv回							
流刑者の刻印	3	3						
効果:	HPを[Lv*10]点回復							
形状変化:剛	5	3						
効果:	攻撃力+[Lv*2]							
形状変化:柔	5	2						
効果:	ガード値+[Lv*2]							
骨の剣	3	3						
効果:	素手のデータを変更							
C:エグザイル	2	2						
効果:	C-Lv							
アドレナリン	3	3						
効果:	【肉体】判定D+[Lv+1]							
タブレット	3	2						
効果:	視界化 シーンLv回							
多重生成	3	3						タブ
効果:	対象を[Lv+1]体に変更							
ブレインハック	1	10						
効果:	対象に「BS:憎悪」を与える							

軽薄な雰囲気な男性。年齢の割には若く見えるのは、容姿のせいか落ち着きのない雰囲気なせいか。誰と付き合うにも広く浅く、あまり深入りせずに表面だけの付き合いが多く、その関係性の構築も軽薄さに拍車をかけている。誰にでも笑顔を浮かべて接する様は、人によっては親しみやすく、人によっては真剣みかけると捉えられるタイプ。容姿も悪い訳でもなく愛想も良いことから、そこそこモテる。高校生くらいから恋人の居なかった期間の方が少ない。が、どれも真剣になることが出来ず、どれも長続きしない。いくら相手の容姿が良からうが、素直な性格だろうが、そんなことは関係が無いのだ。

都会の大学を卒業後、地元に戻ってしない営業職のサラリーマンを続けている。そのテキトーな性格と付き合い方から苦勞することも多いが、のりくりにと仕事も変えずにここまで来ている。就職してからあまり性格は変わらず、相変わらずフラフラと遊び歩くことも多い。夜遊びも決して少なくない。

広く浅く人間関係からあまり深い付き合いの友人も居ないのだが、唯一友人関係が長続きしているのが、幼馴染の女の子だ。元々両親の仲が良かったことから、産まれた時から幼小中高とずっと同じクラスで過ごしてきた。大学になってようやく別々の所に行ったものの、いざ就職するとまた同じ地元に戻ってきたため、ずっと関係性は続いている。ただ、一度も恋愛関係になったことはなく、発展する雰囲気すら出したことが無い。

幼馴染の女の子、鹿嶋千暁とは、自分と真逆にとてもしっかりとした子で、周囲からは凸凹だの、よくお前愛想つかされないなどの、勿体なき過ぎるだの散々な評価である。フラフラしている陽大は叱られつつも、お互いに何でも悩みをぶつけられたり相談できるような間柄。高校以降はお互いの恋愛相談が多くなっていった。この空気は年を経てもあまり変わらず、今となっては定期的に安居酒屋で管を巻いている。お互いに腐れ縁と言いつつも、陽大の側はこの関係性を非常に心地よく感じている。幼馴染側の感じ方は、意図的に気にしないようにしている。

とは言え、いつの頃からかテキトーに雑談を楽しみつつも、恋愛の話になると主に彼女の愚痴や相談を聞くことに終始するようになった。

